

建築研究所 ニュース



平成26年 6月24日

建築研究資料 No.159 「高齢者が生き生きと暮らせるまちづくりの手引き」 の公表について

独立行政法人建築研究所は、建築研究資料「高齢者が生き生きと暮らせるまちづくりの手引き」をとりまとめ、ウェブサイトに掲載しましたのでご案内致します。

建築研究所では平成23年度から25年度に掛けて、重点的研究開発課題「高齢者等の安定した地域居住に資するまちづくり手法の研究」を実施してきました。世界に類を見ないほど急激に高齢化が進展するわが国においては、買い物や福祉・医療などの生活サービスを十分に受けられない生活サービス困窮者が増加することが懸念されています。高齢者の生き生きとした暮らしのためには、こうした生活利便性の確保と合わせて、犯罪や事故から安心して出かけられる環境づくりや、社会参加の機会の確保も重要となります。本資料は、こうした取り組みの先進事例の調査結果をとりまとめ、建築研究資料として出版するものです。

本資料では、高齢者がそれぞれの地域で心身とも健康に暮らし続けられるまちづくりとして、買い物できる場づくり、居場所づくり、社会参加（身近な道路・公園の維持管理）、安全・安心環境づくりの4つの取り組みに着目しました。そして、それぞれの取り組みについて地域が主体となって進める上でのポイントを、全国の先進事例から抽出・整理したものです。

本資料が高齢社会に対応したまちづくりを行う町内会・自治会、福祉団体、商店会などの地域団体および、そうした活動を支援する自治体職員や専門家に活用されることを期待します。

ダウンロードURL

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/data/159/>

以上

（内容の問合せ先）

独立行政法人建築研究所 住宅・都市研究グループ
主任研究員 樋野 公宏（ひのきみひろ）

電話 029-864-6671, E-mail hino@kenken.go.jp

主任研究員 石井 儀光（いしいのりみつ）

電話 029-864-6696, E-mail ishii@kenken.go.jp

はじめに	1
第1章 「高齢者が生き生きと暮らせるまちづくり」とは	5
1. わが国の高齢者の状況と課題	7
2. 高齢者が生き生きと暮らせるまちづくりの考え方	17
コラム1 まちづくり活動と介護予防について	20
第2章 まちづくり活動事例の取り組みと成果	23
本章の見方、読み方	25
1. 買い物できる場づくりの取り組み	27
2. 居場所づくりの取り組み	34
コラム2 重層的な居場所づくりに向けて	44
3. 身近な道路・公園の維持管理の取り組み	46
4. 安全・安心環境づくりの取り組み	51
第3章 まちづくり活動の進め方と留意点・工夫点	57
本章の見方、読み方	59
1. 買い物できる場づくりの進め方	60
2. 居場所づくりの進め方	80
コラム3 居場所づくりを失敗しないために	99
3. 身近な道路・公園の維持管理の進め方	101
コラム4 ニュータウンで仕事人間の男性がリタイア後に地域に戻るために	115
4. 安全・安心環境づくりの進め方	117
コラム5 子どもの見守り活動と健康	135
第4章 行政・専門家の技術的支援	137
1. 支援の流れと工夫・留意点	139
2. 支援にあたって	149
コラム6 高齢者の移動を地域で支える	150
コラム7 「ふるさと納税」を活用した地域支援の提案	152
第5章 事例集	155